

はばたき

- 福祉会・
5 はばたき
 職業センター
 つの誓い
1. 私たちは、一人はみんなのために、みんなはひとりのために働きます。（支え合いと連帯）
 2. 私たちは、どのような環境のもとでも、その人らしい生き方を認め、可能性を信じ、その能力を育む努力を続けます。（生きがいと可能性の追及）
 3. 私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。（心豊かな社会の創造）
 4. 私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。（開拓者としての心得）
 5. 私たちは、生命の尊さ・個人の幸せを求めつつ、社会に貢献することをめざします。（幸福の追求と社会貢献）



視覚障害者サポート体験講座で沢山のことを学び・体験しました・・・（詳細は3面に記載）

悠々堅歩

やちよエイサーの会

代表 村松寛子

皆さん、沖繩は好きですか……

どこまでも青い海と空、美味しい食べ物、格調高い琉球舞踊、沖繩の盆踊りエイサー。私達は沖繩の自然と文化が大好きな幼児から後期高齢者までの個性豊かな同好会です。

大太鼓、締め太鼓、パーランクを打ちながら踊るエイサーは飛びます、回ります、足もあげます。エイサーエイサーヒヤルガエイサーと掛け声も出します。足・腰の筋力維持、脳の活性化にも役立っています。以前、介護施設で演舞した時、太鼓のリズムに合わせて声を発したり、手足を動かしたりと無表情だった人に変化があったと聞きました。

さて私達の原点は琉球舞踊を踊る、沖繩料理を作る、うちなー口を理解するなど趣旨にする「やちよエイサーの会」です。大人だけの集まりから子供も楽しんで踊れるエイサーに移行して二十年近くになりました。ここ福祉センター2階で練習を始めたのは昨年……初めで沖繩出身の男性Kさんが参加されることにより教えていただきました。広い、きれいな、駐車場完備、場所代無料（今まで練習場確保の為、時間も料金も苦労しました）Kさん ありがとうございます。福祉センターの皆様ありがとうございます……

「あんしえー、またやーさい」



手話言語及び情報コミュニケーション条例制定

手話を私たちの八千代市へ広げよう！VI

ひとつまた、私たちの願いが叶いました…… 令和元年9月30日に施行された「手話言語及び情報コミュニケーション条例(略)」の中で、本紙でも何回かお伝えしてきました「コミュニケーションボード」が令和6年2月15日(木)から八千代市の救急自動車全車両に設置され、運用が始まりました。

今までの経緯

聴覚障害者等にとって救急自動車を要請するシステムや救急で病院に着いた際に手話通訳者等を手配するシステムは確立していますが、救急自動車を要請し到着した時どのように救急隊員へ痛いとこなどを伝えるか、その意思伝達方法が課題と感していました……

令和5年3月八千代市聴覚障害者協会の情報交換会でコミュニケーションボードなどの意見があり、同年7月に八千代市障害者支援課から意見交換の場を設け

八千代市

コミュニケーションボード



令和6年2月

ていただき、八千代市聴覚障害者協会の代表者の他に、手をつなぐ親の会の代表者、精神障害者家族会の代表者と本会とで率直な意見を交わし、救急隊との意思伝達を容易にすること、また誰もが安心して暮らせるよう働きかけを行いました。その後、八千代市消防本部との協議も行われ、障害者や外国人を対象に意思伝達に不安を感じる方々向けの「八千代市オリジナルコミュニケーションボード」が市内の救急自動車全車両に設置されることになりました。

コミュニケーションボードとは

聴覚障害者や知的障害者など救急隊員とのコミュニケーション支援を目的に作成された『図版』になります。指差しし

て用いることが想定されており、「絵」に加え、分かりやすい言葉(ひらがな等)で記載されているものです。千葉県では千葉市や印西市、船橋市などにも設置されています。

内容は

「言葉は聞き取れますか?」「文字は書けますか?」「自分で歩けますか?」から始まり、苦しい(痛い)のはどこですか? 指でさしてください! など痛みを発した時間、痛みの状況などイラストや〇×を交え、救急隊員が質問したい内容をいれてあります



八千代市オリジナル
コミュニケーションボードはこちら!

日本語版の他にも

この「コミュニケーションボード」は日本語の他にも国籍別市内在住者の上位5カ国の公用語として英語や中国語、ベトナム語、スペイン語を用意しています。

【コミュニケーションボードの問い合わせ】

- ◇ 八千代市健康福祉部障害者支援課
- ◇ 八千代市消防本部警防課

はばたき 歳時記

★映画鑑賞会を行いました

2月16日はばたき職業センターでは、映画鑑賞会を行いました。

今回で4回目の施設行事企画。食堂の窓を段ボールで自張りし真つ暗にし、スクリーンとプロジェクターで大型画面カラオケ用スピーカーから重低音出力。映画館での鑑賞と同じ環境を作り出すとともに、今回は更に業務用機械を使って調理した特製ポップコーンを提供。生活介護の利用者さんが丹精込めて作ってくれました。

今後も「働く」ことに向き合いながらも、皆が一息ついて楽しめる企画を実施していきたいと思います。



★安全衛生研修「感染症対策」

2月27日はばたき職業センターでは、所内安全衛生研修を行いました。

テーマは「寒い時期を健康的に乗り切る6つのポイント」。生活介護事業で勤務している保健師・佐藤氏を講師に、日常生活の中で注意すべき点について、ゆっくり・わかりやすく解説していただきました。周囲ではインフルエンザなどの流行が拡大していますが、健康管理を徹底していきたいと思えます。

2月の足跡

◇多くの方に伝わるよう！

12月から全9回のスケジュールで始まった「視覚障害者サポート体験講座」が3月2日(土)に修了しました。講師から視覚障害にまつわる困りごとから生活談まで幅広い講話をいただき、またサポート方法などの体験を交え、大変ボリュームのある内容となりました。受講生から「どの回もすばらしく貴重な体験だった」「視覚障害者に限らず、困っている人を見かけたら積極的に声をかけた」「など」の感想をいただき、最後に講師から受講生がこの講座で知り得たことを子供や友達、多くの方に伝えて欲しいとありました。

最後の最後にみんなでハイポーズ！

◇ご存じですか！

皆様ご存じの「八千代市イメージキャラクター・やっち」……イラストにこの度、手話をしている「やっち」が仲間入りしました……



手話「やっち」をぜひぜひ活用してください。

◇新しい仲間が増えました！

2月から同行援護事業のガイドヘルパーとして1名が登録されましたので紹介します。

◇川井幸子 様

これからの活躍に期待します。今後共よろしくお願致します。

◇消防訓練に参加！

2月2日(金) 八千代市福祉センターで消防訓練が行われ、きらめき支援センター全職員も参加しました。

火災時等の初動・消火・避難誘導などを再確認することも普段利用することがない非常階段からの避難を体験しました。いざという時の知識などを習得する機会となりました。

◇ぜひ、ご覧ください！

毎月、設置手話通訳者から理事長を始め、職員等に対して「手話単語」の練習を行っています。その様子は、フェイスブックにアップしているので、是非ご覧ください……

アドレス <http://hukushikai.com/>

身障相談

毎月末、金曜日を身障相談日と設定し、日々の悩みを共有できる場としています。相談員は障害当事者に担当していただいております。ぜひ活用下さい。
※現在新型コロナウイルスの感染状況から連絡は「きらめき支援センター」へ

わたしの暮らし

八千代で暮らす車イス常用者から生活体験談などをシリーズで掲載します。

「将来」

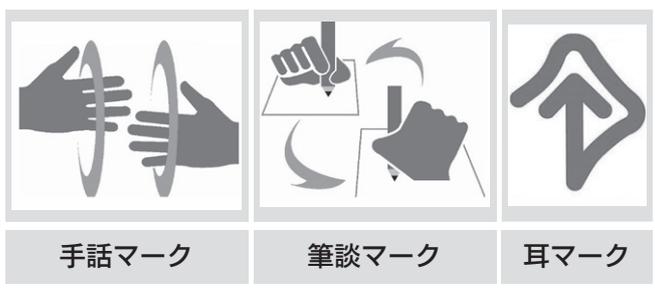
『元気があれば何でもできる！』以前はアントニオ猪木さんのように思っていました。今年50歳を迎える私は、やりたいことより、やれることにしか興味があわなくなりました。でもやっぱり…… 楽しいことはしたい、美味しいものは食べたい、旅行にも行きたい、会いたい人と会って話したい、今日一日をどう過ごすか、なるべく自分で決めて生きていきたいと思っています。今の私にはできることも近い将来できなくなることも増えていくのでしよう。

でも一人で実現させるのは難しくても、制度やサービスを利用すれば夢や希望を可能にできるかもしれません。日頃感じている不便なこと、不満に思っていることを心の中に溜めずに、一歩踏み出してみんなで話し合うことで誰もが暮らしやすい八千代市に近づけると私は信じています。将来を悲観することなく、やりたいことに挑戦していける、そしてまたこう思えるかもしれない…… 『元気があれば何でもできる!!』 ※年間実体験に基づく内容を掲載させていただきます……

手話にふれてみよう！

手話は言語です！ あいさつ編

八千代市手話言語・障害者コミュニケーション条例 令和元年9月30日施行



お気をつけて
両手を胸の前で上下に並べ、胸元に引きよせながら、ぎゅっとにぎります
「注意」という意味もあります



きらめき支援センター
手話通訳者設置事業
FAX/TEL 047-485-8822
E-mail: hukusikai.setti@kind.ocn.ne.jp



八千代市身体障害者福祉会 Facebook → 動画を選択 (動画協力: 八千代市聴覚障害者協会・手話サークル)

福祉 あら カルト情報

★令和6年度

『手話奉仕員養成講座・前期』 受講生募集

聴覚障害者への理解を深め、手話での会話ができることを目的に開催します。この機会に「手話奉仕員」を目指してみませんか！

日程 5月10日～12月20日

毎週金曜日(27回)

※2年課程 全54回の初年度

講座となります。

時間 18時～20時

場所 市福祉センター4階会議室等

定員 20名(先着順)

費用 5,000円(テキスト代)

対象者 市内在住者・手話学習の経験がない者など

締切 5月1日(水)

申込 485・8822 (FAX兼)

★『輝く未来会』参加者募集！

65歳以下で、日中に障害福祉サービスを利用していない在宅の重度身体障害者を対象にした活動です。障害当事者同士の交流から軽スポーツ、調理実習、外出活動など日中活動の「場」として令和6年度の参加者を募集します！

活動日 毎月1～2回程度を予定

場所 障害者福祉センター交流活動室

参加費 活動内容に応じて実費負担

その他 活動に協力いただけるボランティアを募集します

★『笑顔のつどい』参加者募集！

毎月最終の金曜日に身体障害者同士の交流・親睦などを兼ねた活動を実施しています。興味のある方は見学でも構いません……一度、参加してみませんか！

日時 毎月第4金曜 13時半～

場所 八千代市障害者福祉センター

★令和6年度

『八千代市障害者外出支援事業』 (※旧八千代市障害者等 タクシードライバー利用助成事業)

令和6年4月から利用できるタクシードライバーの申請交付が始まります。

◇対象者・身体障害者手帳1・2級または視覚、下肢体幹、移動機能障害の3級その他 療育手帳・精神保健手帳等

※詳しくは、八千代市障害者支援課等へお問い合わせください。

★千葉県約筆記者養成講座(前期)

参加者募集！

〈手書きコース・パソコンコース〉とも5月に開講し、3月に閉講の予定です。

全27回 月曜日の18時半～20時半

場所 千葉聴覚障害者センター

定員 20名

問合せ 千葉聴覚障害者センター

<http://www.chibadeaf.or.jp/>

※詳細は4月1日にアップします。

本紙の問合せ・情報提供・行事申込は、

身障福祉会・きらめき支援センター

TEL 485・1245

FAX 485・1329

まで



●「施設見学」

先月八千代市に新たに生活介護事業所ができて見学させていただきました。

施設長より「市内に身体障害(重心・医療ケア)に特化した生活介護事業所がないことは知っていた、また地域の課題も把握していたので後は形にするだけだった」との話だった。最後に、「現状をどう変えて行くか?そのためには何が必要なのか?」を考え、今回生活介護事業所を開設することになったことだった。

日々当事者・ご家族から様々な相談を受け対応しているが生活介護事業の他にも様々な障害者サービスが不足しているのが現状だ。「利用したくても障害福祉サービスがないので受けることができない」との要望を多く受けている。

相談員として社会資源を創設していくことも大きな仕事になる。日頃から各関係機関と連携し障害者ニーズを共有できているがそこから先のサービスをどう創っていくか?引き続き、関係機関に協力いただながら資源拡大に繋がればと思う。

今月の動き

《3月》

15日 理事会

相談支援事業所連絡会

19日 事業間連絡会議

21日 派遣通訳者学習会

相談支援員勉強会

22日 笑顔のつどい

25日 筆談会&要約筆記体験講座

28日 書道講座

《4月》

1日 理事長訓示・辞令交付

2日 派遣通訳者会議

15日 地域生活はばたき編集会議

17日 輝く未来会



おかし、おかし国語の授業?で作文や感想文など「文面」の最後に「」印を表記すると教わった記憶があります……少々内容とは異なりますが今の時代、年齢や性別を問わず、仕事でもメールやラインを利用し、文面でのやりとりをするのは日常茶飯事になっています……年代によつて「」印を付けることを受け取る側の印象が変わってくるが事務所内でも話題になりました……今や、その時代の常識は今の時代に通用しない時代になっています。

「私たちの時代は、こうしてきた!」も同じだろう…… (こたけ)

福祉会実績報告

福祉有償運送事業	1件
ガイドヘルパー	派遣事業 170件
車イス貸出事業	11件
手話通訳者等派遣事業	(手話48件・要約8件) 56件
施設見学・実習者受入	2人

この紙ははばたき職業センターで印刷しております
印刷・製本の費用ははばたき職業センターまで!!